

平成25年度 第1回 四街道市地域公共交通会議 会議録（概要）

日 時：平成25年11月19日（火） 14：00～15：15

場 所：四街道市役所 5階第1会議室

出席者 委員：榛澤会長、芦沢副会長、林委員、土屋委員、池上委員、古舘委員、小林
（由）委員、松澤委員、池田委員、實川委員、小林（真）委員、高澤委員、武富委員

代理：千葉県バス協会 上田氏、JR東日本千葉支社 小泉氏

事務局出席者：岡田経営企画部長、大野経営企画部次長、大野政策推進課長、石渡副主
幹、多田主査補

傍聴者：なし

会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 会議録の作成について
4. 会議録署名人の指名について
5. 傍聴及び傍聴人への資料配布について
6. 議事
 - (1) 消費税率改正に伴うヨッピー運賃の改定について（資料1）
 - (2) ヨッピー利用等状況及び利用者アンケート調査について（速報）（資料2、3）
 - (3) 市内公共交通の現況及び市民等からの要望状況等について（資料4、5）
 - (4) その他
7. 閉会

—— 開会 ——

【事務局】 定刻になりましたので、ただ今から、平成25年度第1回四街道市地域公共交通会議を開催いたします。

本日は12名のご出席をいただいておりますので、本日の会議が成立しておりますことを、ご報告いたします。

初めに、会長よりごあいさつをいただきたいと存じます。

—— 会長あいさつ ——

【榛澤会長】 みなさま、こんにちは。

四街道市地域公共交通会議、会長 榛澤でございます。

本日は、お忙しい中、地域公共交通会議にお集まりいただきありがとうございます。

昨年度は、この交通会議を3回開催いたしまして、市内循環バス「ヨッピー」の新たな運行方法等について、審議を重ねまして、今年3月15日から新たな運行を開始したところでございます。

本日は、新たな運行を開始したヨッピーの運行状況や10月に実施した利用者アンケート調査、また、来年4月の消費税率引き上げに伴う、ヨッピー運賃の改定などにつきまして、ご意

見を伺いたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

—— 委員異動等 ——

【事務局】 ありがとうございます。

委員の異動がございましたので、ご紹介いたします。

2名いらっしゃいます。前任者の残任期間により委嘱いたしました、四街道警察署 交通課長の 小林 真弘委員でございます。よろしくお申し上げます。

同じく、前任者の残任期間により委嘱いたしました、千葉内陸バス(株)代表取締役社長 林 競委員でございます。よろしくお申し上げます。

また、本日、欠席されております、千葉県バス協会 専務理事 花崎 幸一委員と J R 東日本 千葉支社 総務部企画室長 三澤 恒二郎委員につきましては、会長に事前にご承認をいただきまして、地域公共交通会議条例第5条第4項「会長が必要と認めるとき、委員以外の者の出席を求め、意見・説明を聴くことができる」の規定により、代理として、千葉県バス協会 業務係長 上田 純誠様、J R 東日本 千葉支社 総務部企画室 副課長 小泉 正人様にご出席いただいております。よろしくお申し上げます。

それでは、このあとの進行につきまして、地域公共交通会議条例第5条第1項の規定により、会長をお願いいたします。

—— 会議録の作成について ——

【榛澤会長】 本日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。

議事に先立ちまして、会議録における発言者名については、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、原則として明記することとなっておりますので、前回同様、明記する取扱いとしたいと存じますので、よろしいをお願いします。

—— 会議録署名人の指名について ——

【榛澤会長】 続きまして、本日の会議の会議録署名人は、土屋委員、實川委員にお願いします。

—— 傍聴及び傍聴人への資料配布について ——

【榛澤会長】 続きまして、傍聴希望の方がいるか確認をします。事務局、いかがですか。

【事務局】 おりません。

—— 議題1：消費税率改正に伴うヨッピー運賃の改定について（資料1） ——

【榛澤会長】 それでは本日の議事に入ります。

議題(1)、『消費税率改正に伴うヨッピー運賃の改定について』、ですが、事務局から説明させていただき、委員の皆様のご意見等を伺いたいと思います。

それでは、事務局、説明をお願いします。

【事務局】 ○資料1について説明

【榛澤会長】 それでは、ご意見、ご質問などがありましたらお願いします。

【芦沢副会長】 消費税が上がることを踏まえて、バス事業者が現在の初乗り運賃の160円を170円に上げることを検討しているとのことで、ヨッピーについても、基本的に、消費税の増分を運賃に反映させることは妥当かと思います。消費税の増分をヨッピーの運行経費の中で見えていくのは、収支が赤字である中ではとてもできないことだと思います。値上げ案については妥当かと思います。

【榛澤会長】 ありがとうございます。他にありませんか。なければ、事務局案のとおり、民間路線バスの初乗り運賃に合わせて、ヨッピーの運賃を改定するという方向性でよろしいでしょうか。

< 異議なし >

【榛澤会長】 ありがとうございます。

—— 議題2：ヨッピー利用等状況及び利用者アンケート調査について（速報）

（資料2、3）——

【榛澤会長】 それでは、次の議題「ヨッピー利用等状況及び利用者アンケート調査について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 ○資料2、3について説明

【榛澤会長】 それでは、ご意見、ご質問などがありましたらお願いします。

【芦沢副会長】 逸走したことにより、以前利用していた人はどうなったのか。その消息がどうなっているのか今後、調べて行ってほしいと思います。

外出の頻度が落ちたのかもしれませんが。移動手段を変えたのかもしれませんが。

また、そもそも、補助金を出してまで、民間路線バスより運賃を安く設定しているという理念についてですが、ヨッピーだけ補助するというのは、公平性に欠け、懸念を感じることがあります。補助することの意味合いは、高齢者の交通の便を良くする、あるいはまちの活性化につながる、といった観点もあると思いますが、公共交通の費用については、基本的に利用者が等しく負担するというのが望ましいと考えています。

また、事務局の説明の中にもありましたが、もっとPRしていくことが必要かと思います。資料2の参考のグラフからは、無料客も含めた利用者数は、本年4月から9月にかけて、全体としては若干の増加傾向があるように見えます。これは段々と周知されていった結果だと思いますが、半年ぐらいかけて伸びるということは、逆にいうと、最初からもっとPRを徹底していればということかと思います。

この下半期には、もっと伸びて行ってほしいと思います。

今後のヨッピーのあり方ですが、アンケートの結果を見ると、本数を増やすなど利便性

を上げていく要望がある中で、若干料金が高くなってもという意見もあり、料金をどれだけ負担していただけるか、セットで考えていかなければいけない。

また、路線開設にあたり、地元地区が運賃の2割を負担して、運行を維持することになった畔田台地区での事例もありますので、そういったやり方も視野に入れていく必要もあるかと思えます。

【榛澤会長】 今の芦沢委員のご発言内容については、今後、ヨッピーを改正する際に考えていきたいと思えます。

事務局から新しいヨッピーの時刻表について、補足説明していただきたいと思えます。

【事務局】 ○新しいヨッピーの時刻表について補足説明

【榛澤会長】 新たなヨッピーは、以前のヨッピーと比べますと、通勤時間に対応できるよう、右回りは、朝早く運行するようになりました。

他にご意見ありませんか。

【池田委員】 ICカードの利用率がどれぐらいかということと、障害者の利用人数がどの程度なのか。以前、会議で、障害者に対して運賃をどうするか議論があったと思えますが、民間バスでは、障害者手帳を提示することによって、運賃が半額になったかと思えます。

障害者の方の利用が多いということであれば、収支にも関わってくるというのがありますので、わかるようでしたら、数字を出していただきたいと思えます。

また、先ほど、副会長から逸走の話がありました。逸走者の声を聞くこと、何に転換したか、何で乗らなくなったのかということも重要ですので、わかる範囲で教えていただきたい。

【榛澤会長】 3点あります。事務局お願いします。

【事務局】 ICカードの利用率については、本日、資料として付けておりません。千葉内陸バスから、毎月、実績報告ということで、現金利用者、ICカード利用者別に人数、金額を出したものをいただいています。次回の会議で、アンケート結果等の詳細報告と併せて、その情報についてもお知らせしていきたいと思えます。

障害者の利用状況については、以前は運転手の日報の中で、有料・無料別ということで、便別に実績で出していたおりましたが、今年度、新たな運行に伴いまして、バス停区間での乗り降り人数がわかるように、様式を変更しました。このことから、有料・無料の内訳については、把握しておりません。

逸走者の声につきましては、調査方法等、検討させていただければと思えます。

【池田委員】 障害者は無料なので、恐らく逸走はしていないのではないかと考えます。また、資料2の参考の棒グラフ、折れ線グラフを見ると、土休日だけが逸走しているように見えます。

【榛澤会長】 この件については、次回までに精査するというところでよろしいでしょうか。

【池田委員】 わかりました。

【榛澤会長】 他になければ、議題(2)について終了します。

—— 議題3：市内公共交通の現況及び市民等からの要望状況等について
(資料4、5) ——

【榛澤会長】 それでは、次の議題「市内公共交通の現況及び市民等からの要望状況等について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 ○資料4、5について説明

【榛澤会長】 先ほどの議題(2)と関連がありますので、ヨッピーの要望状況について、詳細な説明をお願いします。

【事務局】 ○資料5 ヨッピーの要望状況について詳細説明

【榛澤会長】 ご質問などがありましたらお願いします。JRの小泉さん、いかがですか。

【三澤委員代理 小泉氏】 ダイヤ改正に伴って、普通列車が快速列車に変更したということで、四街道市民の方々に关しましては、利便が良くなったのではないかと思います。成田エクスプレスについても同様かと思います。引き続き、地域のお客様の利用実態を見据えて、改善できるところは改善してまいりたいと考えています。

【榛澤会長】 千葉内陸バスの林委員、いかがですか。

【林委員】 当社は経営状態が大変厳しくなっております。運行本数について、減便等で市民の皆様にご迷惑をおかけしている部分もあるかと思います。出来るだけ、お客様の声を聞きながら、事業を進めていきたいと考えています。

【芦沢副会長】 ヨッピーに関して、先の話にはなりますが、一つは、便数を増やしてほしいという要望がありますが、バスの台数を増やす必要があるとすれば、他で使われている、例えば、スクールバスといったものの活用も検討対象になるかと思います。

もう一つは、現在のヨッピー、そろそろ、車体が耐用年数に近づいているのではないかと思います。現在のヨッピーは、ベビーカーが乗せられないという意見もありますので、新たに車両を購入する際には、出入り口が広く、低床のものが望ましいと思います。

【榛澤会長】 今の芦沢委員の意見に対して、事務局から何かあればお願いします。

【事務局】 ヨッピー車両について、13年目となっており、そろそろ買い替えの時期という

ことで、具体的な検討に入らなければならないと考えております。

現在の車両は、車いす対応のため、車両後方にリフトがありますが、それがスペースをとっています。今後、車両のサイズを含め、民間路線バスで導入が進んでいるノンステップバスということも視野に入れて、ベビーカーのお話もありましたが、そういった方々への対応も考えていきたいと思っております。

ヨッピーは現在、2台で運行していますが、これ以上、台数を増やすということは、現時点では考えておりませんが、ご指摘のとおり、代替の車両を検討する余地はあると思っております。四街道市では、スクールバスを所有しておりませんので、それ以外のバスということで考えていきたいと思っております。

また、現在、市では総合計画を策定しており、今後、5年間、10年間の中での公共交通を充実させていくために、施策を考えていきたいと思っております。

特に進めていきたいと思っておりますのが、公共交通空白地域、不便地域への対応ということで、既存の公共交通では、民間路線バスやヨッピーがありますが、道路が狭隘な地域も多く、バスでは運行できない地域に対してのデマンドや乗合タクシーの導入、あるいは対象者を絞っての導入など、今後、5年間で、地域交通の実証実験をやりたいと考えているところであります。

【芦沢副会長】 資料4-2の畔田台区の事例では、地区が運賃の2割を負担して運行している、ということで素晴らしい取り組みだと思っております。事務局から経緯等について補足説明をいただければと思っております。

【事務局】 該当する路線は、大日線の1系統として、新萱橋、デニスクラブ前、畔田台の3つのバス停留所を結んだ路線となります。

経緯としましては、畔田台地区から、市にバス運行の要望があり、市としましても、区からの利用見込み等の数字をもとに、千葉内陸バスに協議いたしました。協議過程におきまして、地区の負担により、一定の運賃収入が確保されることを条件として、区、千葉内陸バス、市の3者による協定を締結し、運行に至ったものです。

【榛澤会長】 市の補助はありますか。

【事務局】 運行補助は行っていません。ただ、運賃支払いについてはチケット制にしていますが、そのチケット作成に協力させていただいたり、バス折り返し場所の整備などを行っております。

【榛澤会長】 この事例について、池田委員、何かご意見ありませんか。

【池田委員】 地元住民の方からバス運行の要望というのは、多くありますが、地元が負担して運行を維持している例は、他の自治体でもあまりありません。

他の地域から要望があった場合に、この事例のような方法もあり、市の具体的な支援内容も話すなどして、この事例をうまくPRしていただきたいと思っております。

【榛澤会長】 他にありませんか。なければ、この議題(3)について終了させていただきます。

—— その他 ——

【榛澤会長】 それでは、その他ありましたらお願いします。

【小林委員】 今回の畔田台区のことですが、区だけでなく、テニスクラブといった施設も協力するなどの話があったのでしょうか。

【事務局】 畔田台区の住民が中心になっていますが、老人ホームのあすみの丘という施設が地区にあり、その施設の職員の方、あるいは施設の利用者の方もバス利用の協力がいただけるということで、運行開始前から話がありました。

また、区の皆さん、運行について、非常に前向きに相談されています。どの時間にバス利用をするのか、区の中でアンケートを取るなどして、絞り込み、それを市が仲介して、千葉内陸バスと協議、調整させていただきました。

沿線の企業にも積極的に声掛けをするなど、地域全体での取り組みということで認識していただければと思います。

【小林委員】 地域全体の連帯感のもとで、運行を実現したということで、今後の他の地域も含めて、希望につながるものだと思います。

【事務局】 ○「四街道路線バス案内」、「よつぼくんバス時刻」について説明

○経営企画部長より、委員任期満了に伴うお礼あいさつ

本日は、お忙しい中、ご出席くださいまして、誠にありがとうございました。

この地域公共交通会議は、2年前に条例により設置し、平成23年11月22日に第1回目の会議を開催しました。以来、本日の会議を含め、計8回会議を重ねてまいったところであり、皆様におかれましては、任期中の2年間、会議にご出席いただき、熱心なご議論、貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

任期としては、明後日11月21日までとなりますが、今期で任を解かれる皆様におかれましては、今後とも、様々な機会を通じて、ご意見等をいただければと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

また、引き続き、委員をお引き受けいただける皆様におかれましては、これまでと同様に、ご協力を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

最後に、委員の皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、簡単ではございますが、お礼のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○次回、会議について、来年1月下旬から2月上旬に開催予定

【榛澤会長】 他に何かありませんか。

【土屋委員】 運賃のことですが、160円を170円にすることについて、詳細をご教示いただければと思います。

【榛澤会長】 初乗り運賃を170円にするかどうかは、現在、各事業者で検討中であります。ヨッピーの運賃について、民間の初乗り運賃に合わせて、改定するという考え方ですので、この考え方については、よろしいでしょうか。

【土屋委員】 はい、了解しました。

【榛澤会長】 他になければ、長時間、ご協力いただきありがとうございました。
本日の会議はこれにて終了したいと思います。ありがとうございました。

以上